



2024~2025

国際ロータリー第 2730 地区

週報 佐土原ロータリークラブ

The Magic OF Rotary

RI テーマ
ロータリーのマジック

会長：小牧 義隆 副会長：福島 城史 RI2730 地区ガバナー 笹山 義弘
 幹事：藤浪 淳志 会計：田辺 浩嗣 中部グループガバナー補佐 戸高 勝利
 事務局：押川 有里 会報委員：杉尾 一樹 RI 会長テーマ ロータリーのマジック
 例会会場：コンベンションセンター 2730 地区スローガン 「ロータリーのマジックで
 ロータリー楽しもう」
 例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL :0985-21-1133・FAX 0985-21-1144
 事務局住所：宮崎市神宮東 2 丁目 6-26 TEL0985-72-7600 FAX0985-72-7600

第 1684 回例会 令和 6 年 9 月 18 日(水)

<今日のプログラム>

- 1.点 鐘 会長 小牧 義隆 君
- 2.ロータリーソング ♪ ♪
- 3.4 つのテスト 本日の担当者より
- 4.会長の時間 会長 小牧 義隆 君
- 5.幹事報告 幹事 藤浪 敦志 君
- 6.出席報告 出席委員より～
- 7.委員会報告
- 8、
- 11.次週例会案内 SAA より
- 12.点 鐘 会長 小牧 義隆 君

第 1683 回例会記録 令和 6 年 9 月 4 日 (水)

■会長の時間 会長 小牧 義隆 君



皆さんこんにちは、29 日の台風
 の竜巻被害はすさまじいもの
 がありました。石崎浜の鯨賓館
 あたりから平小牧地区・光陽
 台・新木地区・下村地区・テ
 クノリサーチ団地から久保土
 あたりまで進んだようです。た
 くさんの被害が出ています。又、
 福島地区や養鰻関係に被害が
 出ており、確かな状況はわか
 らない模様です、被災された
 皆様にお見舞いを申し上げます。

■幹事報告 幹事 藤浪 淳志君
 幹事報告は別紙のとおりです。

■出席 委員長 岩切正司君
 本日の出席は 19 名で 73%です。

■HP 披露 委員 君

■委員会報告 宮原健樹君



■財団委員会

郡司武俊君



Xmas カップ杯の優勝旗のレイアウトができました。皆さんチェックをお願いします。今年の大会が楽しみです。

■米山奨学生 奨学金授与



3 分間スピーチ

太田忍君



川崎麻友君



セレモニー受賞者です おめでとうございます



職業奉仕とは

今、ロータリーの中で職業奉仕についての議論が活発になっております。

ロータリーの職業奉仕の基本理念「利他の心」をよく耳にするようになりました。プレジデントオンラインに 稲盛和夫氏の記事が掲載されていました。ロータリーの職業奉仕の理念と同じですので皆さんに配布

します。

まずは人間としていかにあるべきか

私は、経営者という者は企業のリーダーとして「人間としてまず何が正しいのか」という事を判断基準にしなければならないと考える。

経営判断をする場合、一般的な考え方としては「損得」という利害得失で考えがちですが、真の経営者は「善悪」という基準で判断すべきなのです。しかし、善か悪かを判断するにはまず立派な人間性を持っていなければなりません。

そこで「人間としていかにあるべきか」というところまで、さかのぼって考える必要が出てきます。こうすればうちの会社にとってのみ都合がよく儲かるというようなことがあったとしても、人としていかなるものかと思った時は、それは決して選ばない。そのくらいの勇気が真の経営者には必要になるのです。

言い換えれば、目先の利益ではなく、「利他の心を判断基準にする」ということです。私たちの心にはもともと「自分だけがよければいい」と考える利己の心と、「他によかれし」と考える利他の心があります。利己の心で判断すると、自分の事しか考えていないので、誰の協力も得られません。自己中心ですから、視野も狭くなり、間違った判断をしてしまいます。

一方利他の心で判断すると「人によかれ」という心ですから、周りの人みんなが協力してくれます。また、視野も広がるので、正しい判断が出来るのです。ですから、より良い仕事をしていくためには、自分だけのことを考えて判断するのではなく、周りの人の事を考え、思いやりに満ちた「利他の心」に立って判断すべきなのです。

しかし、多くの経営者はどうしても自分の都合のいいように判断をしてしまいがちです。利害関係のないときは、正論を吐き、立派なことを言っている人が、いざ自分の損得が絡むと態度が一変してしまう。そんな人はリーダーとしての資質を欠いています。

一見、自分に不利と思えるような状況であったとしても「利他の心」をもって正しい判断が出来るのが本物のリーダーの条件です。

以上、稲盛和夫さんが、JALの破綻した後を会長となって再生させたときの記事の一部です

藤堂孝一